円卓会議　フードバンクチーム

日時　：2017年8月2日(水)とちぎボランティアネットワークにて

参加者：小澤勇治（共立診療所医療相談員）、中村節子（下野市市会議員）、徳山

議題　①円卓会議におけるフードバンクチームの趣旨と目標

　　　②フードバンクの施設の規模、形式、食品の確保について

●議事

　・様々な事情で食品を得ることができない家庭の子どもの食を支える必要とするフードバンクの施設や食品を確保する。

　・食品を求める人の事情を聞き、困窮を解決する情報源の入り口とする。

　・どのようなタイプのフードバンクが必要かを検討。

　・食品（特にお米）が実際にあるのかを調査する。

●フードバンクについてレクチャー

　・初参加のメンバーが来たので、復習的にフードバンクの説明をする。

●1人親家庭の世帯の数字について

　平成27年度に調査した国勢調査に基づき確認。平成22年の調査した数字とかけ離れているので適切な数字を調査することになった。（徳山が調査する。）

●主食である米の供給について

　年間の米の生産量と消費量の差を考えると、宇都宮市の困窮1人親世帯に十分に米を供給できるが、畜産の飼料や米菓とうに使われて余っているのか調査する必要がある。

（JA関係者に知り合いのいる中村さんが調査する。）

　お米の確保の連携先として、上三川有機農業推進協議会やＪＡの人を巻き込む。（中村さん担当）

●フードバンクの倉庫について

　全て新しく倉庫を確保するよりは、既存の施設を利用できるとコストを下げることができる。倉庫として流用できそうな施設を調査する。（小澤さん）

●集める食品と設備の検討

・どのような食品を集めるのが適切なのか。

・どんな設備（冷蔵庫、棚、など）が必要か次回検討。